



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
Fax 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

地方議会での男女共同参画 議員研修会で学ぶ

市議会議員 上田由美子

富山県市議会議員研修会で「議会における男女共同参画 地方議会を中心に考える」と題して、駒澤大学法学部教授大山礼子氏のリモート研修会があり、市民に身近な市議会にするために、生かすことができればと考え、ご紹介いたします。

議会信頼回復への道は？

大山礼子教授の講演

地方議会の未来には、「議会不信」と「なり手不足」の暗雲がある。議会は遠い存在であり、政策決定に住民の意見が反映されていない。何をやっているのかが見えないという声が多い。議会が信頼を回復する道は、①多様な住民の声を代表する、②住民の意見を反映する、③住民と情報を共有するの3点であり、信頼の回復はなり手不足の解消にもつながる。

政党の努力義務 女性候補擁立に目標を

2018年5月に政治分野における男女共同参画推進法が成立し、「政党の努力義務」として「女性の候補者数について目標を定めるなど、自主的な取り組み」を求めている。

国会（下院）の女性議員比率は、スウェーデンが47%、フランス40%、アメリカ27%、韓国19%、日本10%である。男女格差を測るジェンダーギャップ指数は、2022年に日本は146カ国中116位である。その最大の理由は政治分野における女性進出の遅れにあり、政治分野の順位は139位である。

議員の多様性が不可欠

信頼される議会には議員の多様性が不可欠である。今、国会や地方議会に対する信頼感が低下している大きな原因の一つは、国民・住民から見て議員が自分たちの代表とは思えないことではないか。議会を既得権益代表機関ではなく、多様な住民



桜井市長に申し入れる共産党の面々 = 5月8日

共産党 物価高騰対策を 市長に申し入れ

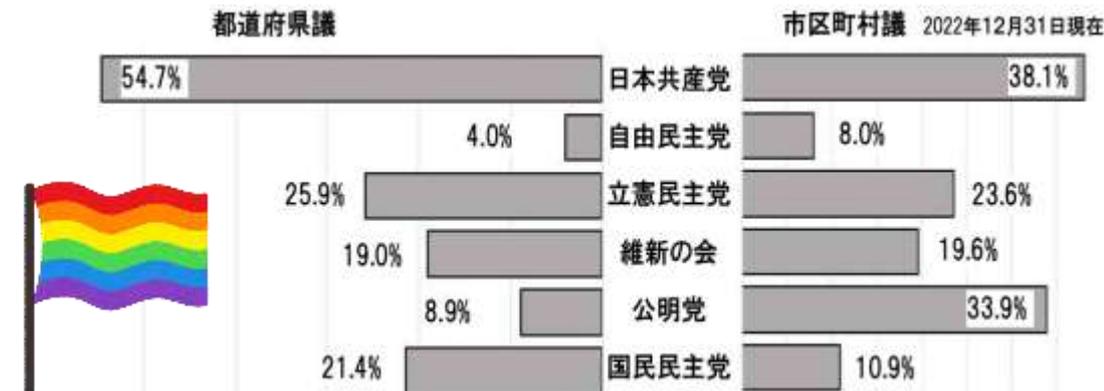
日本共産党小矢部市委員会は5月8日、桜井市長に①給食費の値上げ分を公費で負担すること、②農業の肥料や燃料高騰対策として補助することを申し入れました。桜井市長は「各課に要望を出させている」「この二つについては前向きに検討する」と述べました。

を代表する機関に変える必要がある。女性の政治参加拡大は多様性確保のための一丁目一番地である。また女性が働きやすい環境作りとして、ハラスメント防止のため、第3者機関による相談窓口の設置などの対策が必要としています。

地方議員のほぼ半数は女性

ジェンダー平等を掲げる日本共産党

日本共産党はジェンダー平等を掲げ、国会・地方議会での女性の立候補者や議員は、他の政党を上回っています。今年の統一地方選挙で共産党の女性の当選者は道府県議では57・33%、政令市議では50・53%、後半戦の区市町村議では44・7%でした。下図は総務省の昨年12月31日現在のデータを基に『週刊明るい小矢部』編集部で作成しました。



訂正 『週刊明るい小矢部』4月23日号の施設利用料値上げの記事で、値上げの時期を「4月から」としていましたが「10月から」ですので、お詫びして訂正します。

政界川柳・狂歌

物価高子どもなんて生めますか
三代目歌舞伎じゃなくて議員さん
温暖化救う議論をすべき時
戦争なんかしてる場合か
なにしてる無難な国で金まかず
正恩プーチン近平に会え
外国でばらまくための税金を
孫(ソン)は収めず庶民損する

荒川翔平